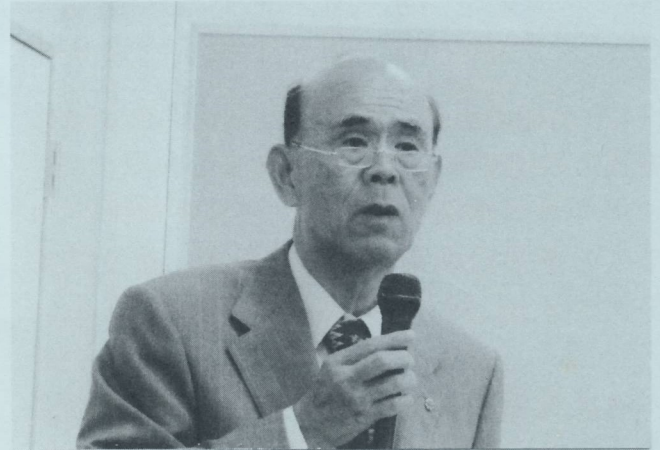


新任の会長挨拶

三方原地区社会福祉協議会
会長 本間一則



●三方原社協 本間会長

三方原地区社会福祉協議会の平成20年度総会で今年度の会長に推薦を受け、お引き受けしました。元より薄学非才の身ではありますが、皆様のご協力を戴き、任期を全うしたいと思います。

今日の社会生活の余りにも殺伐とした状況に背筋が寒くなるのを覚えます。日常的に起きている殺人事件、非正規社員の格差問題、後期高齢者の医療問題、子供や老人に対する虐待等、一方国外に目をやれば、自然災害による多くの死者。人道的救済にも政治的思惑が絡み思うように進まない現実。私たちを取り巻く社会情勢は、日々悪化の一途を辿っています。こうした中であって三方原社協は「地域住民の福祉は地域住民の手で」をモットーに、地域に根ざした福祉活動を目標として活動してまいります。具体的には、1人暮らし高齢者の皆さんとの触れ合いの会、学校行事時に幼児を一時的にお預かりする託児支援、昔遊びや親子触れ合い餅つき大会等を行い、世代間を越えた交流会を目指して行きます。今年度の大きな活動の一つとして、三方原公民館内にボランティアルーム「ふれあい」を設けました。毎月4回、火、土曜日の午後から「相談コーナー」を開き、各種の相談事に応じる体制を作りました。自治会員、役員の皆様や民生・児童委員のご協力がある、はじめて出来ることです。これらの活動が地域住民の皆様は何らかの応援になる事を期待しつつ、私に対して更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ就任のご挨拶といたします。

地区社会福祉協議会（略称で地区社協）

地区社協とは何ですか？

「地区社協」とは、地区社会福祉協議会の略称で、福祉のまちづくりを進める事を目的とした地域住民の自主組織です。

構成は、自治会をはじめ、婦人部などの住民組織、民生委員や保護司などの福祉に携わる方々、高齢者や障害のある人たちの団体、ボランティアグループ、学校、PTAなど様々な方々が関わっています。「地区社協」は、特別なことをするのではなく、日常生活にある福祉課題を皆で共有し、知恵を出し合い、解決のために実践していくことを目指しています。



地区社協の区域は？

地域には、学校、幼稚園、保育園、医療機関等の日常生活をおくるうえで必要な生活に関連した施設があります。これらを考慮した生活圏で、助け合い、支え合いの活動ができる範囲が、地区社協の区域として適しているといえます。

浜松市では、原則的には単位自治会がまとまっている「自治会連合会」を地域社協区域としています。

**地域住民の福祉は
地域の住民の手で**

平成20年度 三方原地区社協定期総会

開催日 4月23日(水)
場 所 三方原公民館
時 間 午後7時～9時

120名様の出席を戴き三方原地区社会福祉協議会の定期総会が開催されました。

19年度の事業実績報告、決算実績報告20年度の事業計画案、予算計画案、新役員案の議案提出に対して審議後承認されました。

地区社協の活動も4年目に入りました。これまでに試行錯誤の時期もありましたが、地に足が着いた地区社協らしい活動が少し出来るようになりました。地域の社会福祉のために、一層充実した活動に努めたいと思います。



●来賓 長山区長挨拶



●総会風景

第1回 講演会開催 【地域のボランティア活動について】

社会福祉法人聖隷福祉事業団
特別養護老人ホームいなさ愛光園
園長 長谷川清太

定期総会に引き続き行われた講演会に
総会出席者全員が参加され、
講師の話しを熱心に聞いて頂きました。

ボランティアをするには、あまり熱くなるとすぐ燃え尽きるから、自然に無理なく「してあげる」から「する」に、たまに気が向いた時にやるだけでいい、1年の壁、3年の壁、5年の壁、10年越えたら大丈夫、それが長続きするための秘訣です。

ボランティアの種は
何処にもあります



20年度地区社協役員名簿

顧問	吉村 哲志	三方原町	市議員
顧問	西澤 晃眞	初生町	前民生児童委員
相談役	飯尾 和宣	初生町	連合会長
会長	本間 一則	初生町	29地区民生会長
副会長	中村 義彦	三方原町	連合副会長
副会長	西村 幸男	三方原町	連合副会長
会計	小倉 一夫	三方原町	前自治会長
監事	中川 秀三	三幸町	自治会長
監事	安藤 末子	初生町	民生児童委員
事務局	中山けい子	東三方原	民生児童委員

企画部会			
部長	加茂 哲夫	大原町	自治会長
広報部会			
部長	田口 泰久	三方原町	前自治会長
高齢者部会			
部長	杉原 佳子	豊岡町	民生児童委員
子育て支援部会			
部長	樽木 昭	初生町	民生児童委員
相談室			
室長	山本 健司	豊岡町	民生児童委員

20年度社協取組計画

- 高齢者福祉部会
 - ・災害時安否確認票運用法の確立
 - ・1人暮らしの高齢者の交流会開催等
- 子育て支援部会
 - ・子供広場の開催・昔遊びの指導
 - ・学校行事の際に託児支援活動等
- 企画運営部会
 - ・福祉講演会の実施
 - ・公民館まつりへの協賛参加等
- 広報部会
 - ・社協広報誌の発行等
 - 年2回発行各1000部 等
- 相談室
 - ・ふれあい相談会開催
 - 月/4回（火曜日）（土曜日） 等



● 20年度 地区社協役員

地域ボランティアコーナー開設

名称 初生・三方原地区 ボランティアコーナー 『ふれあい』
 場所 三方原公民館 1階ホール手前南側 TEL/FAX 439-0860

**ボランティアコーナーで
 よろず相談を始めます。**

よろず相談 13時～16時
 6/14(土)21(土)7/5(土)12(土)19(土)
 遺言・相続相談 13時～16時
 7/8(火) 8/12(火)

・よろず相談は毎月第1.2.3/土曜日
 ・遺言・相続相談は毎月/第2火曜日
 *気軽に相談コーナーにおいで下さい。



●相談室

三方原の 福祉施設 の紹介



シリーズ 4

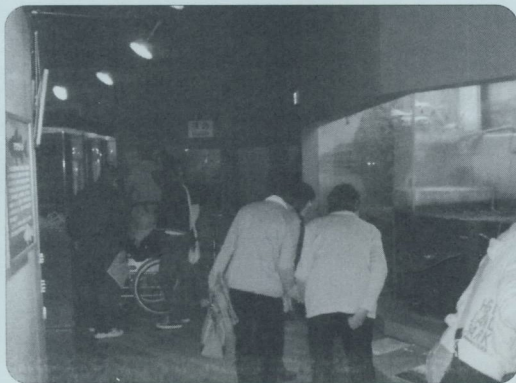
うえるケアホーム あおば

浜松市北区三方原町 70-2 TEL 053-439-8140



シリーズ 4 回目に紹介させていただくことになり、大変嬉しい限りです。では、早速あおばの紹介をします。

うえるケアホームあおばは、介護サービス事業をしているグループホームです。グループホームとは、認知症の高齢者の方が共同生活をするための介護施設です。あおばは1階に9名、2階に9名、合計18名の皆様が入居されています。私たちは、もし自分が認知症になったときどのようなホームに入居したいかと考え、外出やご家族様の訪問が自由である暮らし、喫煙や飲酒などの嗜好品が楽しめる暮らしを目指しています。また認知症という病気を理解し、家族とともに利用者（入居者）様を支えていく介護をしたいと考えています。そのような認知症高齢者の介護を展開していく上で、この土地を提供していただきましたオーナー様はじめ、三方原南の自治会長様、近隣住民の皆様の温かいご支援を賜り、認知症介護の充実を図っているところです。そして、家族会をもって利用者様とともに遠足に行ったり、ご家族の皆様と認知症の勉強会を開催してきました。しかし、私たち介護職員のみでは十分ではないため、少しでも多くのボランティアの皆様の獲得をしていきたいと考えています。また、地域の保育園・幼稚園・小中学校との交流などを図り、子供たちにも認知症の高齢者を理解していただく機会を設けることができると切望しています。



舞阪「ウォット」の遠足風景

私たちあおばにご協力いただくことばかりを述べてしまいましたが、私どもあおばが地域の皆様にご協力いただけることがあればぜひ、お役立ていただきたいと思います。認知症のことをもっと知りたいとか、在宅での介護の方法がわからないなどがございましたら、ぜひあおばにお立ち寄りください。